

登場人物

- ・ 山内美咲（17）：高校2年生
- ・ 河野優香（17）：美咲のクラスメイト
- ・ 三原奈美（17）：美咲のクラスメイト
- ・ 山内香里（49）：美咲の母
- ・ 岡田涼太（17）：美咲の幼馴染

○高校・教室（朝）

生徒たちで埋まっていて、ざわついている。

後ろの方に座っている、山内美咲（17）、河野優香（17）、三原奈美（17）。

優香「ってか、美咲髪切ったでしょ」

嬉しそうに髪を触る美咲。

美咲「さすが！よく気づいたね。夏だから短くした」

奈美「夏だからってあんたいつも短いじゃん。うち全く気づかなかったわ」

美咲「いつものショートカットとはちよつと違うんだな」

奈美「どこが？」

美咲「当てて見てよ」

美咲の髪を見て首を傾げる優香と奈美。

美咲「正解はいつもより0・5センチ短くしました」

呆れて笑う優香。

奈美「いつもと一緒じゃん。0・5センチな
んて二週間で伸びるわ」

美咲「何よ、文句ばっかり。夏バージョンな
の！名付けて」

優香「名付けて？」

美咲、髪を手で靡かせて、

美咲「美咲ショートカットスペシャル！夏休
みが待ちきれない！」

優香と奈美、吹き出す。

優香「何それ」

奈美「夏休み前にいつものショートカットに
戻るって」

美咲「もー、うるさいな」

○美咲宅・美咲の部屋（夜）

美咲、ベッドで横になりながらスマホ
を見ている。

出会い系アプリのプロフィール画面。

男の後ろ姿、名前は『マサ』。

『大学生で留学中です ポニーテール

好きです』と書かれている。
突然、『マサ』から『今日も電話しようよ』とメッセージが届く。
美咲、嬉しそうに起き上がる。

○同・リビング（夜）

テレビを見ている山内香里（49）。
美咲、そっと階段から降りてくる。

香里「どこ行くの」

美咲「ちよっと、すぐそこ」

美咲「こんな時間に？」

美咲「すぐ帰ってくる」

玄関に向かう美咲。

○美咲宅の前の公園（夜）

美咲、団扇を仰ぎながらベンチに座って電話をしている。

美咲「うん、わかった。じゃあ、また明日ね」

ニコニコして電話を切る美咲。

横から、アイスを食べながら岡田涼太

(17)、

涼太「なになに、ニヤニヤしちゃって」

美咲「びっくりした、あんたいたの」

美咲、立ち上がって家に向かう。

涼太、美咲について行く。

涼太「好きな人でも出来たんかー？」

美咲「別に？」

涼太「どーせあれだろ？ 出会い系アプリだ

ろ？ 女子達みんなやってるもんない。あれ

未成年やったらダメなんじゃないの？」

美咲「あんたには関係ないでしょ」

涼太「関係なくないわ」

美咲「どう関係ある？」

涼太「それは、あれだ。俺は世の中をパトロ

ールしてるから。正義の味方だ」

美咲「なに言ってるの、泣き虫お坊ちゃんが」

涼太「うるさい、それいな」

美咲、家の扉に手をかける。

涼太「俺は似合うてると思うよ！」

美咲、振り返る。

涼太「美咲ショートカットスペシャル！夏休みが待ちきれない！」

涼太、髪の毛をなびかせるポーズをする。

美咲「あんたに言われても嬉しくないわ」

美咲、家に入って行く。

涼太、ポケットからもう一つアイスを取り出すが、少し溶けてしまっている。
涼太、美咲宅の隣の家に入って行く。

○同（夜）

ベンチに座って電話をしている美咲。
長袖を着て、髪も3センチ程度伸びている。

美咲の目の前に現れる涼太、ふざけて踊ったりしている。

無視している美咲。

美咲「そうなんだ。うん、じゃあまた」

電話を切る美咲、ため息をついて、

美咲「なんなの、あんた」

涼太、変な運動をしながら、

涼太「俺考えたんだけどさ、出会い系アプリって釣り堀だよな」

美咲「は？」

涼太「釣り堀って絶対釣れるだろ？ 出会い系アプリも大抵は相手なんてすぐ見つかるじゃない？」

美咲「で？」

涼太「それじゃしょーもないだろ？ 俺は大海原で釣った魚と出会いたいわ」

美咲「意味分かんないんだけど？」

涼太「俺も」

美咲、立ち上がって家に向かう。
変な運動をしながら美咲の後ろ姿を見つめている涼太。

○同（夜）

ベンチに座って楽しそうに電話をしている美咲。

厚手の上着を着て、マフラーを巻いて

いる。

髪はさらに3センチ程度伸びている。

○涼太宅・涼太の部屋（夜）

窓から、美咲を見ている涼太。

釣竿を美咲に向かって投げ、糸を引く
仕草。

○高校・教室

落ち込んでいる美咲。

美咲の髪の毛はさらに3センチ程度伸
びている。

美咲を慰めている優香と奈美。

その様子を遠目の席から見ている涼太。

○涼太宅・涼太の部屋（夜）

窓を開けて誰もいない公園をポーツと
眺めている涼太。

外から、桜の花びらがひらひらと舞い
込んでくる。

涼太、花びらを手にとってみる。

○美咲宅・美咲の部屋（夜）

ベッドでスマホを見ながら横になって
いる美咲。

美咲、出会い系のアプリを消す。
うつ伏せになり顔を枕に埋める。

○美咲宅・前（夜）

美咲、コンビニの袋を持って歩いてく
る。

美咲、家に入ろうとする。
後ろから、

涼太の声「おーい」

振り返る美咲。

涼太、花火セットを手に持って立って
いる。

涼太「花火しようよ」

美咲「なんであんと花火すんの」

涼太「いいじゃん、花火なんて誰とやっても

楽しいじゃん」

美咲「それにまだ6月だけど？」

涼太「こんくらいの時期が一番いいんだって！暑すぎないし、虫も少ない。ほら、行くぞ」

公園に向かって行く涼太の後ろ姿を見つめる美咲。

○公園（夜）

楽しそうに花火をしている涼太と美咲。

涼太「ほら、楽しいだろ」

美咲「楽しくないわ」

涼太「なあ、山内」

美咲「ん？」

涼太「俺、前も言ったかもしれないけど」

美咲「うん」

涼太「髪の毛、短い方が似合ってると思うよ」

照れて笑う美咲。

美咲「ああ、そうですか」

涼太「山内らしい方が好きだ」

美咲、花火を涼太に向ける。

涼太「危な！」

涼太、飛び跳ねる。

はしゃいでいる涼太と美咲。

○高校・校門前（朝）

歩いている涼太。

後ろから、涼太を追い越して歩いて行く美咲の後ろ姿。

髪はショートカット。

美咲の髪に見惚れる涼太。

美咲、パツと振り返って、

美咲「夏だから切っただけ！」

涼太、笑う。

涼太「なんも言っていないわ！」

ふふっと笑って歩いてく美咲。

嬉しそうに美咲のもとへ走って行く涼太。

